

# (理科) 授業計画表

教科名	科目名	単位数	学年・講座	教科書名(発行所)
理科	理科探究 I	2	3年1組 I 型	理科探究 I (宇和高等学校三瓶分校理科)
学習の アドバイス	1 日常生活で利用している物質や化学変化に疑問や関心を持ち、基本的な原理・法則を理解しよう。 2 授業の内容を理解するために教科書を読み、板書事項をきちんとノートにまとめておこう。 3 実験を通して法則や化学反応を理解し、得られた結果を考察する力を身に付けよう。			
評価 の 観点 ・ 評価 方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、単に記憶するのではなく、具体的な性質や反応と結びつけて理解し、それらを活用する能力を身に付けている。</li> <li>観察・実験などを目的意識を持って行い、基本操作を習得している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質とその変化の中に問題を見だし、その問題を化学的に探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した答えを的確に表現できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会との関連を図りながら、身近な物質とその変化へ関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。</li> </ul>	
上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、授業態度、実験態度、課題等を観点別に評価し、3観点の評価を総括する。				
	授 業 内 容	時間数	学 習 の ポ イ ン ト	
学 期	2章 酸と塩基の復習  3章 酸化と還元 1 酸化と還元  2 酸化還元反応の利用  <中間考査>  1編 物質の成り立ち 1章 物質の探究 1 物質の性質と分離  <期末考査>  2 物質の成分	1  12  13	○酸と塩基、水素イオン濃度とpH、中和反応と塩の生成 中和反応の量的関係と中和滴定、滴定曲線  ○酸素の授受、水素の授受、電子の授受、酸化数 酸化剤、還元剤、金属のイオン化傾向  ○一次電池、二次電池、電気分解      ○混合物と純物質、混合物の分離と精製、物質の三態      ○元素と元素記号、単体と混合物、元素の確認	

二 学 期	2章 物質の構成粒子 1 原子の構造 2 電子配置と周期表  3章 物質と化学結合 1 イオンとイオン結合  2 金属と金属結合  <中間考査>  3 分子と共有結合  2編 物質の変化 1章 物質と化学変化 1 原子量・分子量と物質質量  2 化学変化の量的関係  <期末考査>  2章 酸と塩基 1 酸と塩基  2 水素イオン濃度とpH	3   7   10   4	○原子、原子番号、質量数、同位体、放射性同位体 ○電子配置、価電子、周期律  ○イオン、陽イオン、陰イオン、イオン式、イオン結合、イオン結晶 ○典型元素、遷移元素、自由電子、合金  ○分子式、分子の極性、分子結晶、共有結合  ○原子量、分子量、式量、アボガドロ数、物質質量溶液の濃度 ○化学反応式、生成物、反応物  ○酸の定義、塩基の定義、強酸、弱酸、強塩基、弱塩基、電離度 ○水の電離、pH、pH指示薬
	3 中和反応と塩の生成  4 中和反応の量的関係と中和滴定  3章 酸化と還元 1 酸化と還元  2 酸化還元反応の利用  <学年末考査> 家庭学習	4  8  8	○正塩、酸性塩、塩基性塩、塩の性質  ○量的関係、中和滴定、滴定曲線  ○酸素の授受、水素の授受、電子の授受、酸化数 酸化剤、還元剤、金属のイオン化傾向 ○一次電池、二次電池、電気分解
	総 時 間 数	70	